



大学生事業活動報告会  
南会津町中荒井地区

福島大学とげっちょ組～地域活性化サークル～

# とげっちょ組とは



- ・ 「福島大学わりばしから環境を考える会」を前身として、平成28年4月に新しく発足した地元密着型の地域活性化サークル
- ・ 南会津町中荒井地区で中山間地域の活性化を目的に活動している
- ・ 現在は、男子5名 女子1名の計6名で活動

# 中荒井地区の概要

・人口 全体364人 男184人 女180人

・位置 田島地区の国道121号沿いに位置している。

・交通 会津鉄道線がある。（浅草行きが繋がった）

・名産 日本酒や南郷トマトなど。

・歴史 如活禅師が有名。縄文土器なども出土している。



## 前年度までの活動

- 地域実態調査

- 地元の方との交流会・SWOT分析

- 如活祭などの地元の行事への参加・PR

- フットパスマップ・ツアーの企画





# 今年度の活動

- ・ 中荒井地区フットパスマップの更新
- ・ 地域資源発掘ワークショップ兼ツアー
- ・ 歳の神への参加
- ・ 中荒井地区アンケート調査

# 中荒井地区フットパス マップ更新

・昨年度から行っている中荒井地区の地域資源をまとめたフットパスマップの更新

**→観光客の方へのアピールになり、地元の方が地域を再発見するきっかけ作りにもなる！**

・イラスト・名所案内を追加

・今後は地区のビューポイント、コース等を追加していく予定



## ～中荒井の名所紹介～

- |  |  |
|--|--|
| <p>1. 妙見神社<br/>中世の山城、鳴山上に隣接する神社。阿賀野川流域に広がる田園地帯を一望できる。</p> <p>2. 田出宇賀神社<br/>中荒井油燈組の鎮守様として祀られている。祭神は稲倉魂命（イナクラタミノミコト）。毎年9月18日に、氏子の安寧を願って祭礼が行われる。</p> <p>3. 鷲神社<br/>中荒井の鎮守様として祀られている。祭神は天日鷲命（アメノヒワシノミコト）、別名は天比和志可氣流夜命（アメノヒワシカケルヤノミコト）。毎年9月18日に氏子の安寧を願って祭礼が行われる。</p> <p>4. 稲荷神社<br/>中荒井下組の氏子が坪神として祀っている。毎年旧暦の8月1日に、商売繁盛・五穀豊穡・家内安全を願って祭礼が行われる。</p> <p>5. 熊野神社<br/>中荒井中組の氏子が坪神として祀っている。祭神は、伊邪那美命（イザナミノミコト）。会津藩市で神道家の服部安休（1619～1681）の勅めで、二荒山神社から熊野神社に改称。</p> <p>6. 秋葉神社<br/>中荒井上組の氏子が、坪神として祀っている。祭神は火之迦具土神（ヒノカグツノカミ）。火防鎮護の神として信仰されている。</p> | <p>7. 羽黒神社<br/>中荒井の子桂（こかつろ）の氏子が、坪神として祀っている。拝殿に隣接し、立派なトチノキの巨木がある。</p> <p>8. 福一万虚空蔵尊堂<br/>かつて大破していた福一万虚空蔵尊堂は、長田村（現南会津町永田）の又左衛門を世話人として再建。祭礼は、毎年1月7日に、七日堂参りとして行われている。</p> <p>9. 中荒井集会施設<br/>地域の高齢化や自然災害に備えると共に、コミュニティ活動の充実・発展を目的に大規模改修工事を行い、平成26年3月に落成した。</p> <p>10. 子安地蔵堂<br/>『中荒井村史』では、興意法親王（江戸時代初期の皇族）が慶長17年（1612）当地を訪れ、弘法大使が彫った地蔵菩薩を心から祈っていた際、安産の御利益が授けられたとされる。そこで南会津町川島の南照寺の修験が御堂を造立し、子安地蔵菩薩が安置された。</p> <p>11. 旧荒海小学校中荒井分校<br/>明治6年（1873）年に糸澤小学校として創立された中荒井地区最初の小学校。昭和34年の統合後は、企業の生産工場や倉庫等に活用され、平成28年には南会津町に南会津町景観重要建造物指定の第一号になった。</p> <p>12. 中荒井駅<br/>昭和22年12月12日に鉄道が開通。現在の駅舎は昭和62年に国鉄から第三セクター会津鉄道（株）となった際に、建て替えられた。平成29年4月に新型特急「リパティ会津」が浅草駅から会津田島駅まで走ることになった。</p> |
|--|--|



# 10月 地域資源発掘ツアー 兼 ワークショップ

あの町イイトコ見つけよう!  
学びと遊びと感動の旅!

(主催)  
福島大学 とげっちょ組  
～地域活性化サークル～

地域資源発掘ツアー  
in 南会津  
～イザベラバードの旅路を辿る～

大河ドラマの題材にもなったあの人物、イザベラバードの歩いた風景を楽しみながら、会津の歴史とこれからを一緒に考えてみよう!

日時 9月28日(金)、29日(土) 1泊2日

内容 1日目 福島県南会津町中荒井地区のマップ製作のための散歩  
地域資源・マップ活用の有効活用についてのワークショップ  
郷土料理と地元の食材を使ったBBQ

2日目 奥会津博物館・大内宿の見学

対象者 歴史・地域づくりに興味のある大学生など

参加費 2,500円 当日集金(宿泊費・見学科込み)

※1日目・2日目の昼食は自己負担

宿泊先 会津山村道場 山荘ななみね

(<http://www.akabitojo.com/gakawaku/kanagawa.html>)

移動手段 貸し切りバス(福島駅・郡山駅どちらかに集合)

募集人数 先着12名(希望者の多い場合、途中で締め切ることもあります)

福島県 大学生の力を活用した集落支援事業

## イザベラバードって誰?

明治維新からまだ間もない1878年(明治11年)、46歳の時にサンフランシスコから太平洋を渡って日本を訪れた英国の女性冒険家イザベラバードは、6月から9月までの3ヶ月をかけて日光から会津を通り新潟に抜けて秋田・青森・北海道を旅し、妹へ送った手紙をもとに、1885年、『Unbeaten Tracks in Japan (日本奥地紀行)』と題した旅行記を出版した人物。



## 当日のスケジュール

9/28 (金)	9/29 (土)
9:00 福島駅西口発	8:00 朝食
10:00 郡山駅発	9:00 奥会津博物館見学
12:00 昼食・見学(中荒井地区散歩)	10:40 見学終了・出発
15:00 ワークショップ	12:10 大内宿到着
BBQ(山荘ななみね)	15:00 大内宿出発
	17:50 福島駅解散(郡山駅 16:40)

## 申し込み方法

下記の内容を全てご記入の上、([togeccyo@gmail.com](mailto:togeccyo@gmail.com))にメールを送信してください。

件名

「中荒井ワークショップ参加申し込み」

本文

①氏名(よみがな) ②大学名・学部(学類)・学年

③メールアドレス・電話番号 ④生年月日

⑤性別 ⑥備考(アレルギー、宗教など)

⑦当日の希望の集合場所

(福島駅または郡山駅から選択)

お問い合わせは「福島大学 とげっちょ組」  
([togeccyo@gmail.com](mailto:togeccyo@gmail.com)) までどうぞ





# 1月 歳の神参加

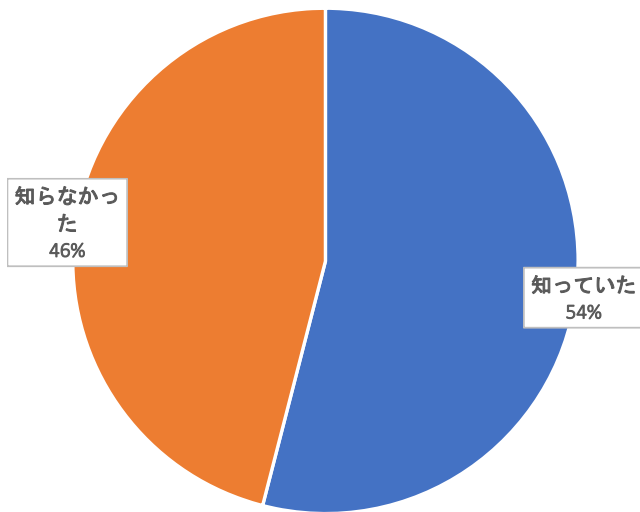




# 中荒井地区アンケート調査①

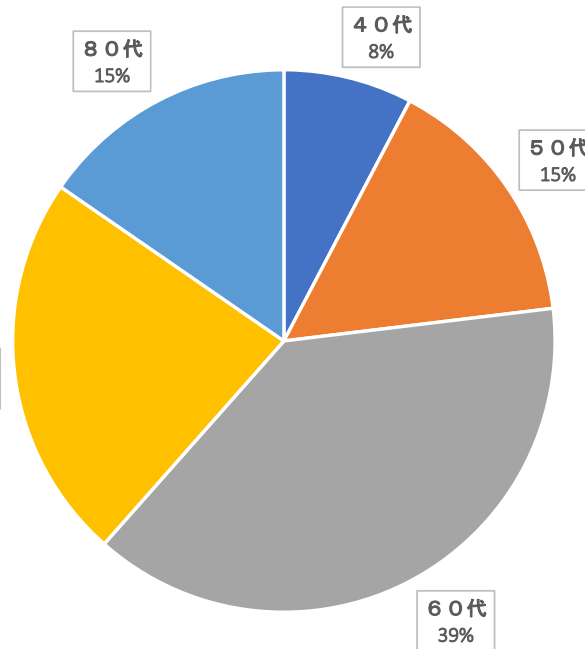
## ・「歳の神」参加者に対してアンケート調査を実施

とげっちょ組の知名度



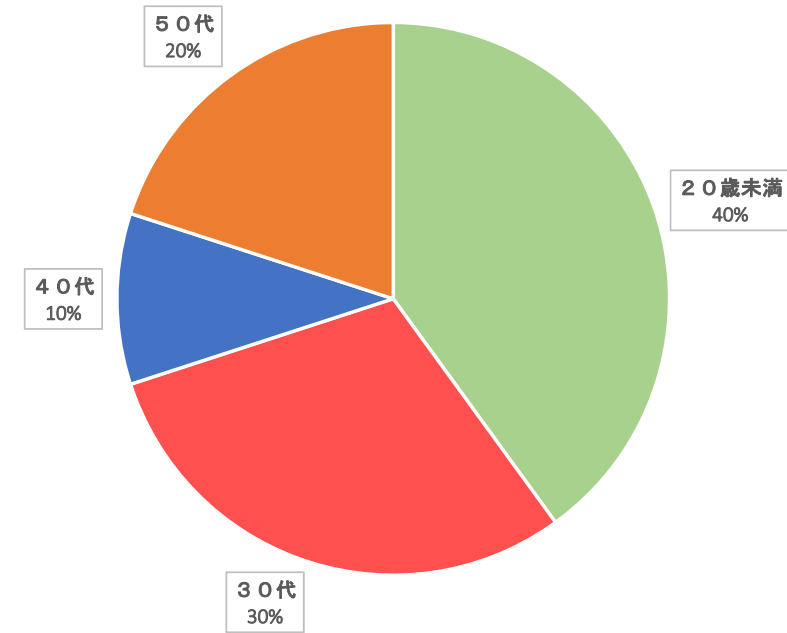
■ 知っていた ■ 知らなかった

とげっちょ組を知っている人の年代



■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代

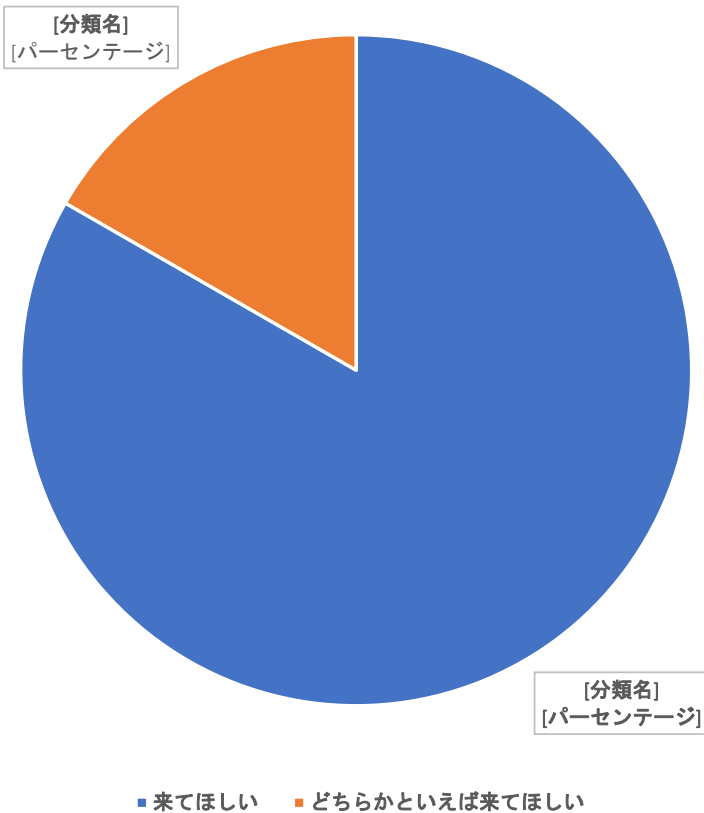
とげっちょ組を知らない人の年代



■ 20歳未満 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代

# 中荒井地区アンケート調査②

中荒井地区に外部から人が来てほしいかどうか



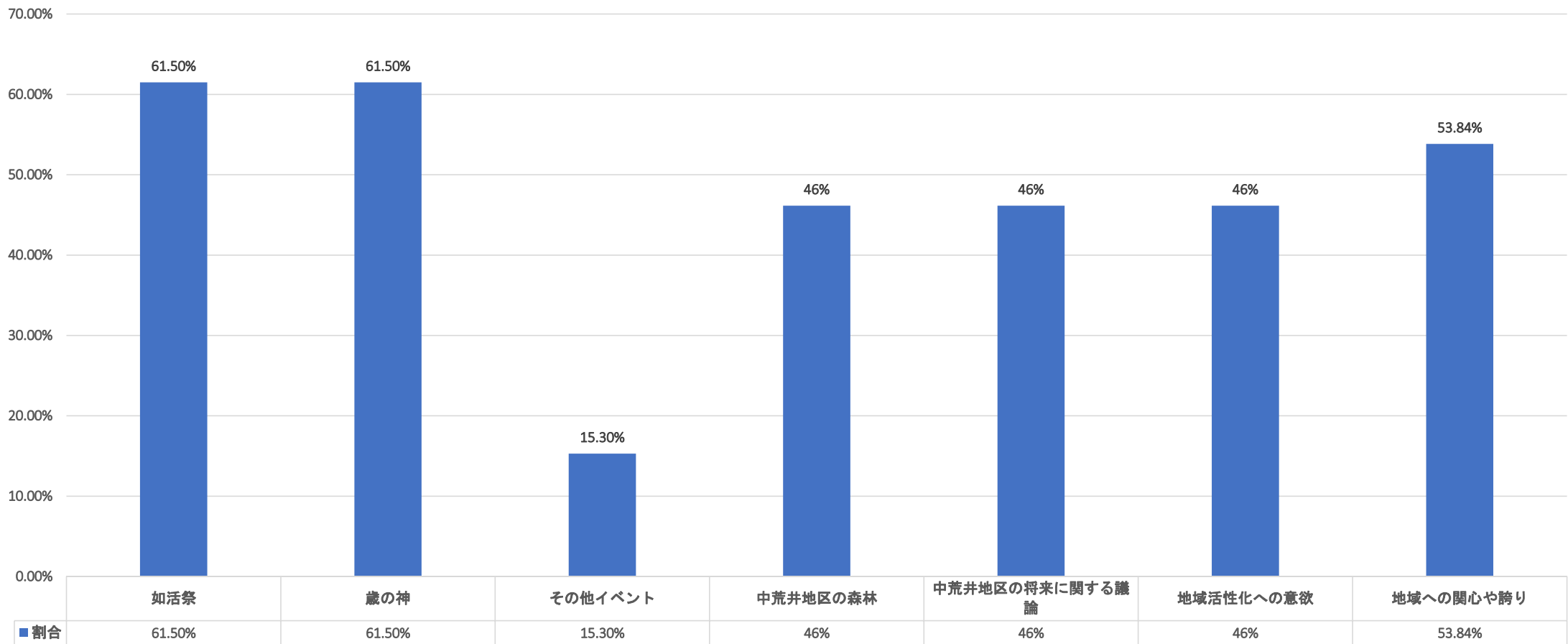
## 〈中荒井地区に来てほしい理由〉

- ・ 中荒井地区を知るきっかけにしてほしい
- ・ 地区が有名になる、友達が増えるから
  - ・ 経済的に豊かになる
- ・ 子どものためにも、交流人口を増やして地域に元気になってほしい



# 中荒井地区アンケート調査③

とげっちょ組が中荒井地区に来て活性化したと感じるもの



# 中荒井地区との連携

・ 区が、地域資源をまとめた  
住民向けの冊子を作成、  
全世帯に配布

・ 中荒井地区内 12カ所に観  
光客向けの案内用の看板を  
設置



### 十三、会津鉄道中荒井駅

我が国で最初に鉄道が走ったのが、明治五年（一八七二）東京新橋と横浜間である。

福島県では、明治二十年（一八八七）黒磯と郡山間である。会津若松と田島までは、昭和九年（一九三四）に開通。田島駅から以南は、終戦後の物資不足に苦勞したが、関係者の懸命な努力の結果、中荒井駅・荒海駅までの念願の鉄道が昭和二十二年十二月十二日に開通。この日は朝から猛吹雪であったが、沿線住民の歓喜歓呼限らない興奮に沸き立った。なお、滝原（現・会津高原尾瀬口駅）まで全線が開通したのは、昭和二十八年十一月八日である。

「出典：野岩・会津鉄道建設運動史」

・現在の駅舎は、昭和六十二年七月九日に国鉄から第三セクター「会津鉄道（株）」となった際にログハウスの駅舎に建て替えられた。

・平成二十九年四月二十一日、七十年來の夢であった新型特急「リバイ・会津」が東武鉄道浅草駅から会津鉄道会津田島駅まで走る時代を迎えた。

神社・仏閣・公共施設解説書

「時を紡いだ 中荒井郷土史」発展事業「ふるさと継承事業」

「福島県地域創生総合支援事業活用」

南会津町中荒井区



# 今年度の成果・課題

## 「成果」

- ・ フットパスマップ更新のためのワークショップやアンケートを通して、住民の方への活動の周知を図ると共に、意見を反映することができた
- ・ 活動が、中荒井地区の名所の看板設置や地域資源をまとめたパンフレット作成等の、実際の区の動きにつながった

## 「課題」

- ・ イベントの告知や事前準備の面で課題が多かった
- ・ フットパスマップへの要望等を反映しきれなかった

## 今後の動き

- ・ フットパスマップの更新・配布・ 公共施設等への設置

- ・ SNSを使った中荒井地区の情報発信活動